

強度行動障害支援者養成研修

研修内容及びカリキュラム表

基礎研修

平成30年2月19日(月)～2月27日(火)

| 月日 | 研修科目名 | 研修時間 (実質時間数) | 内 容 | 講師名 | 実施会場 |
|---------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|-------|------|
| ① | オリエンテーション | 10:15～10:30 (0:15) | ・研修にあたっての注意事項等 | 事務局 | |
| 2 / 19 (月) | I 講義 1. 強度行動障害がある者の基本的理解 | 10:30～12:00 (1:30) | ①強度行動障害とは ・本研修の対象となる行動障害 ・強度行動障害の定義 ・強度行動障害支援の歴史的な流れ ・知的障害/自閉症/精神障害とは ・行動障害と家族の生活の理解 ・危機管理、緊急時の対応 | 志賀 利一 | |
| | I 講義 2. 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識 | 13:00～14:00 (1:00) | ③強度行動障害と制度 ・自立支援給付と行動障害 ・支援区分と行動関連項目 ・重度訪問介護の対象拡大 ・発達障害者支援体制整備 ・強度行動障害支援者養成研修 | 志賀 利一 | |
| | I 講義 1. 強度行動障害がある者の基本的理解 | 14:10～15:10 (1:00) | ②強度行動障害と医療 ・強度行動障害と精神科の診断 ・強度行動障害と医療的アプローチ ・福祉と医療の連携 | 門 眞一郎 | |
| | I 講義 2. 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識 | 15:20～16:20 (1:00) | ④構造化 ・構造化の考え方 ・構造化の考え方基本と手法 ・構造化に基づく支援のアイディア | 門 眞一郎 | |
| | | 16:30～17:00 (0:30) | ⑤支援の基本的な枠組みと記録 ・支援の基本的な枠組み ・支援の基本的なプロセス ・アセスメント票と支援の手順書の理解 ・記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ | 西田 武志 | |
| | | 17:00～17:30 (0:30) | ⑥虐待防止と身体拘束 ・虐待防止法と身体拘束について ・強度行動障害と虐待 | 西田 武志 | |
| | | 17:40～18:40 (1:00) | ⑦実践報告 ・児童期における支援の実際 ・成人期における支援の実際 | 西田 武志 | |
| ② | II 演習 1. 基本的な情報収集と記録等の共有 | 9:30～10:30 (1:00) | ①情報収集とチームプレイの基本 ・情報の入手とその方法 ・記録とそのまとめ方と情報共有 ・アセスメントとは | 澤 月子 | |
| 2 / 27 (火) | II 演習 2. 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解 | 10:40～12:10 13:00～14:00 (2:30) | ②固有のコミュニケーション ・様々なコミュニケーション方法 ・コミュニケーションの理解と表出 ・グループ討議/まとめ | 門 眞一郎 | |
| | II 演習 3. 行動障害の背景にある特性の理解 | 14:10～17:00 (2:30) | ③行動障害の背景にあるもの ・感覚、知覚の特異性と障害特性 ・行動障害を理解する氷山モデル ・グループ討議/まとめ | 門 眞一郎 | |

